

## 「港区子どもの未来応援施策」に関わる調査について

区は、子どもの貧困対策を「港区子どもの未来応援施策」として推進しています。

施策の検討にあたり、平成28年6月～8月に子どもと子育て家庭の生活状況や意識及び要望並びに必要な支援等を把握することを目的として**子どもの未来応援施策基礎調査（保健・福祉的側面）**及び、**学びの未来応援施策実態調査（教育的側面）**の2つの調査を実施しました。

### 子どもの未来応援施策基礎調査（保健・福祉的側面から調査を実施）

#### 【アンケート調査対象】

- ①児童育成手当を受給しているひとり親家庭の保護者
- ②就学援助を受けている準要保護世帯の保護者
- ③子どものいる生活保護受給世帯の保護者※全数抽出。

#### 【ヒアリング調査対象】

日頃より子どもとの関わりのある関係部署、施設等15か所

### 学びの未来応援施策実態調査（教育的側面から調査を実施）

#### 【アンケート調査対象】

- ①区立小学校11校の小学4年生の1学級の保護者
- ②区立中学校6校の中学2年生の1学級の保護者

#### 【学校事例集の作成】

区立小中学校28校

## 「2つの調査」と「これまでの取組」から見えた主な課題

### ▶子ども自身が将来を考えるための情報を求めており、子どもへの情報発信が必要

- ・夢を持つきっかけがもっとほしい。（中学1年生の意見）
- ・将来どのような職業に就けるのか不安。仕事について知ることができる機会がほしい。（中学2年生の意見）
- ・大学でどのようなことが学べるのか知りたい。（高校3年生の意見） 等

### ▶保護者の約7割が大学進学を希望しているが、塾代に困っている

- ・無料の学習支援を利用したいか。→利用したい63.2%

#### <子ども自身の自由意見>

- ・大学受験のため塾に通いたいが高くて通えない。（中学3年生等同意見多数）
- ・勉強に意欲があってもお金がないため、無料の学習塾があったらよい。（高校1年生）

### ▶地域で子ども・若者を支援する人材や場所が少ない

- ・不安を抱えている家庭や子どもに対して、行政サービスだけでなく、地域における社会資源が必要となる（関係施設へのヒアリング）。
- ・子ども食堂等の食事支援や学習支援などを行う団体が少ない。（子ども食堂：区内2か所）